

2016年10月28日

厚生労働大臣
塩崎 恭久 殿

増田美加 (NPO 法人乳がん画像診断ネットワーク 副理事長、
NPO 法人女性医療ネットワーク 理事 マンマチアー委員会)
山崎多賀子 (NPO 法人キャンサーリボンズ 理事、マンマチアー委員会)
栗原和江 (NPO 法人くまがやピンクリボンの会 代表理事)
溝口綾子 (KSHS 乳がんキチンと手術、ホンネで再建代表、
聖路加スマイルコミュニティ代表)
ほか全国 13 都道府県、26 乳がん患者団体代表、及び理事 28 人
(合計 32 乳がん患者団体代表、及び理事 32 人)

乳癌のマンモグラフィ検診で「判別困難」な女性に対する 結果通知方法の見直しに関する要望書

私たちは、ひとりひとりに合った精度の高い「乳がん検診」をエビデンスに基づいて正しく受診し、乳癌の早期発見、早期治療につなげるため、患者、市民団体として、医療者、専門家とともに、それぞれの立場から啓発活動を日頃より行っております。

乳癌は日本国内において罹患率、死亡率ともに増加しており、日本女性の年間死亡者数は 13,240 人(2014 年*1)、年間罹患患者数は 72,472 人(2011 年*2) にのぼっています。また、国立がん研究センターは 2016 年に乳癌で死亡する女性は 1 万 4 千人、発症する乳癌は 9 万人と予測。これは、欧米と同じく一生のうち 8 人に 1 人が乳癌に罹患するということになります。*3 乳癌死亡率の低下のためには、治療の進歩はもちろんのこと、検診受診率の向上とともに精度の高い検診による早期発見、早期治療が重要です。

しかし、現状で行われている乳がん検診のマンモグラフィ検査では、アジア人女性の約 5 割~8 割 *4 がマンモグラフィでは異常が見えにくい「高濃度乳房」であることが指摘されており、「高濃度乳房」の検診受診者に対して、「異常なし」と通知されているケースが多いことがわかっています。新聞社が主要な 131 自治体にアンケート調査を実施した結果、約 7 割の自治体が、マンモグラフィ検査では乳癌の判別困難な「高濃度乳房」であることを通知する仕組みがないことが明らかになりました。

つきましては、自治体が行う乳がん検診のマンモグラフィ検査につきまして、以下のとおり、要望いたします。

*1, 2, 3 国立がん研究センターがん情報サービス がん登録・統計より

*4 Using Clinical Factors and Mammographic Breast Density to Estimate Breast Cancer Risk : Development and Validation of a New Predictive Model Jeffrey A. Tice, MD; Steven R. Cummings, et al.

記

1 自治体が行う乳がん検診のマンモグラフィ検査で、「高濃度乳房」「不均一高濃度乳房」と診断された場合は、検査結果を「異常なし」と伝えるのではなく、受診者の知る権利を尊重し、「判別困難」である旨の通知を徹底するために、指針の改正をすること。

2 「判別困難」であった場合には、超音波検査を加える不利益 *5 も伝えたいうえで、超音波

などを加えるべきか、受診者がどうすべきかなどをアドバイスすること。

3 1, 2 に関しての自治体の実態把握を進めること。

4 高濃度乳房の実態把握のために国レベルの研究を進めること。

5 死亡率を下げる精度の高い乳がん検診の構築をめざして、「判別困難」であった場合には、過剰診断、過剰受診のことも踏まえ、マンモグラフィ検査に超音波検査などを加える法整備を行うこと。

6 5 の速やかな実現（インフラ整備を含め）に向けて、超音波検査などの受け皿を整えるため全国レベルで、医師・技師への教育事業（講習）を国として加速化させること。

7 1～6 の早期実現のために、早急に厚労省のもとで行政、専門家（医療者）、患者の複数がチームを組んでこの問題を考える会議を立ち上げていただきたいと思います。

以上

* 5 [http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(15\)00774-6/abstract](http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(15)00774-6/abstract)

【協力乳がん患者団体代表、理事】

北海道札幌市 中川美智代（ピンクダイヤ 代表）

北海道紋別市 田中夕貴（ピンクリボン IN MOMBETSU 実行委員会 代表）

岩手県北上市 高橋みよ子（ペイシェントアクティブびわの会 代表）

埼玉県北本市 草野朋子（ピンクリボンの会きたもと 代表）

埼玉県さいたま市 小山紀枝、森由里子、宋綾子（Cava! さいたま BEC）

千葉県 齋藤とし子（乳がん体験者の会 アイビー千葉 代表）

東京都 真水美佳（特定非営利活動法人エンパワリング プレストキャンサー/E-BeC 理事長）

東京都 田中愛子（暮らしの保健室かなで がんカフェ 代表）

東京都 武田千春（Smile Ring ALUMNA 代表）

東京都 藤森香衣（C-ribbons 代表理事）

東京都 太宰牧子（遺伝性乳がん卵巣がん当事者会 NPO 法人クラヴィスアルクス 理事長）

東京都 杉平香織（BC バド Smile 代表）

東京都 広瀬真奈美（一般社団法人キャンサーフィットネス 代表理事）

東京都 大友明子（メンタル・スパ代表 モヤモヤの会主宰）

東京都 原千晶（よつばの会代表）

神奈川県藤沢市 吉田久美（ガーゼ帽子を縫う会 発起人）

神奈川県横浜市 藤原緑（Company de Company 代表）

静岡県 中島恭子（乳がん患者会マンマ・宮 代表）

石川県金沢市 角谷淳子（かなざわピンクリボンプロジェクト 代表）

石川県金沢市 山口節枝（BCSG（Breast Cancer Support Group）石川世話人長）

愛知県名古屋市 加藤千恵子（NPO 法人テッテルーチェ 代表）

大阪府堺市 大石千加子（NPO 法人 Pink-CareBreast 代表）

大阪府大阪市 長内真弓（re-born 代表）

兵庫県姫路市 石井尚美（ピンクリボひめじ 代表）

鹿児島県 山口紀子（NPO 法人あなただけの乳がんではなく 理事）

沖縄県 与儀淑恵（NPO 乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさぁ 代表）